

令和4年度宮崎県介護人材確保推進協議会 議事録

- 1 開催の日時 令和4年6月1日（水）13時30分から15時00分
- 2 開催の場所 宮崎県防災庁舎（防75・76号室）
- 3 出席者 別添委員名簿のとおり

4 議事

(1) 開会

(2) 福祉保健部次長（会長）あいさつ

(3) 議題

介護人材確保等の状況に関して、資料1について事務局、資料2について宮崎県労働局職業対策課、資料3について宮崎県老人福祉サービス協議会が説明を行った。

(4) 意見交換

資料4及びその他の事項について、以下のとおり質疑及び意見交換を行った。

委員	以前は介護事業者は社会福祉法人が多かったが、昨今は民間の有料老人ホームの方が断然多くなっている。有料老人ホームの代表者も本協議会に呼んだ方がいいと思うが、有料老人ホームを取りまとめる団体は県内に無いので検討が必要だと思う。
委員	外国人材確保のために官民一体となった取組が必要と考える。
事務局	先進事例として福井県等の取組を調査している。外国人材受入団体の運営に係るコストや、受入団体の事務局選定など、検討すべき課題もあり、継続して情報収集を続けて実施可能性を模索していく。
委員	仕事を辞めた理由といったネガティブな要素ではなく、仕事を続けている理由等、ポジティブな要素を引き出す実態調査を行って欲しい。また、今までの実態調査等で上がっている「人間関係」等に着眼した研修が欲しい。

事務局	<p>実態調査の項目については介護労働安定センターとも協議しつつ検討していきたい。</p> <p>研修については、福祉人材センター等と協力して充実を考えていく。</p>
委員	<p>設立が古い社会福祉法人等では施設の立地が良くないものが多い一方、昨今増えている有料老人ホーム等は街中などの立地が良いところが多く、その結果、利用者や職員獲得の面で差が出ている。</p> <p>この2年ほどはICTやロボット等の導入に手厚い補助があり感謝している。一方で設備を導入すると同時にそれを使うための職員教育も必要であり、教育機会への支援をお願いしたい。</p>
事務局	<p>大規模施設の移転は難しいが、ある程度小規模な地域密着型施設の設置であれば手厚い補助を行っている。</p> <p>研修についてはコロナの影響もあり集合研修や先進施設の見学会等が難しかったが、今後は実施していきたい。</p>
事務局	<p>令和5年度に実施を検討している事業について意見を伺いたい。職員が研修受講する際に、代替職員を確保するための費用の補助を検討している。対象研修や補助率については検討中であるが、研修を受けやすい環境整備のため検討していきたい。</p> <p>(特段の意見なし)</p>
委員	<p>介護の魅力発信として、福祉系高校生が中学生に車イスなどの介護用具の体験会などを行っているが、中学生からでは遅いので小学生から取り組んでいく必要がある。</p> <p>また、当団体では介護コンテストを実施しているが、全国大会の旅費等も含め生徒が経費を負担して実施している。生徒の技術・モチベーション向上に重要な取組なのでどうか支援をお願いしたい。</p> <p>福祉科の教師は基礎的なことは教えられるが、最先端・現場の情報を指導することは難しいので、こうした講義ができる講師の派遣について協力が欲しい。</p>

事務局	<p>中学生向けに実施している高校生と連携した魅力発信の取組みを小学生にも拡張することが考えられる。また、福祉人材センターでは小学生向けのパンフレット等も作っており、協力して小学生へのアプローチも行っていきたい。</p> <p>介護コンテストについては介護の魅力発信事業の中でメディア等を通じて広くPRしていきたい。費用等については教育庁と協議していく。講師派遣については介護福祉士養成施設の講師等、関係団体と協議して候補者を選定することがよいものとする。</p>
委員	<p>ケアマネジャーが不足している。待遇がよくないことが一つの理由かと考える。</p> <p>最近ではコロナについて楽観的な風潮が世間に広がっているが、介護職員はそういうわけにいかず、世間との感覚的ギャップが広がっており、これが職員への強い負担になっている。メディア等を通じて介護職員にエールを送るなど、フォローをお願いしたい。</p>
事務局	<p>ケアマネジャーの処遇改善等については国への要望を継続しており、県としてもできることがないか検討していく。</p> <p>介護職員へのエールについては昨年度もCM等で実施してきたところだが、今年度も実施の方向で進めている。</p>
委員	<p>介護職員へのエールについては介護福祉士会でもYoutube等を通じて行っているところなのでぜひご覧いただきたい。</p>

(5) 閉会